

			科目コード	204
科目名	基礎看護方法論Ⅱ（生活援助技術） （Fundamental Nursing Methods II）		開講学科	看護学科
選択区分	必修	単位数（時間）	2単位（60時間）	履修時期
担当教員	青木 光子、岡田 ルリ子、徳永 なみじ、相原 ひろみ 谷本 淳子、森 敬子、野本 百合子		科目区分	専門科目
授業概要	基礎看護方法論Ⅰをはじめとする既習の知識・技術を基盤とした、生活援助技術を教授する。そして、事前学習、グループ学習、演習を設定し、主体的な援助技術の習得を目指す（オムニバス方式）。演習は、3人1組とし、看護者役、患者役、観察者を交互に体験できる機会を設ける。			
授業目標	生活援助技術が、根拠に基づき確実にできる力を養う。 1 援助技術を実施するための根拠となる知識について記述できる。 2 援助技術の実施方法について、安全・安楽・自立の観点から説明できる。 3 メンバーと協力しながら主体的に、学習課題および演習を行うことができる。 4 技術演習を振り返り、自己課題と改善策を演習後レポート内に記述できる。 5 援助技術を安全・安楽・自立に配慮した方法で実施できる。			

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	観察・記録・報告技術	記録・報告に関する基本的知識・技術	青木光子
2～5	バイタルサイン	バイタルサイン測定に関する基本的知識 ＜演習＞バイタルサイン測定	徳永なみじ 担当者全員
6～11	排泄援助技術Ⅰ	排泄の意義と自然な排泄への援助方法 浣腸に関する基本的知識・技術 超音波診断の基本的知識 ＜演習＞床上排泄、浣腸 超音波診断装置による大腸の観察	青木光子 担当者全員
12～18	清潔・衣生活援助技術	身体の清潔と衣生活援助に関する基本的知識と方法 ＜演習＞洗髪、全身清拭・陰部洗浄・おむつ交換・寝衣交換	岡田ルリ子 担当者全員
19～21	活動・休息援助技術Ⅱ	活動と休息の方法 ＜演習＞手浴・足浴、マッサージ	相原ひろみ 担当者全員
22～29	食事援助技術	食事を摂る意義、食事内容と栄養摂取、食事摂取のための援助方法 ＜演習＞食事摂取への援助・口腔ケア 経管栄養療法に関する基本的知識・技術、超音波診断装置による経鼻胃カテーテル挿入後の確認 ＜演習＞経管栄養法	青木光子 相原ひろみ 森敬子 担当者全員
30	まとめ	履修実技の指導	担当者全員
成績評価方法	筆記試験 60%、実技試験 30%、事前学習・演習後レポート 10%で評価する。		
教科書	阿曾洋子・氏家幸子・井上智子「基礎看護技術 第7版」（医学書院）		
参考図書	深井喜代子「基礎看護技術Ⅰ」（メヂカルフレンド社） 深井喜代子「基礎看護技術Ⅱ」（メヂカルフレンド社）		
備考	「人体の構造・機能」「食と栄養」「生命活動と代謝」「感染と免疫」「化学」などの既習の知識や並行して学ぶ知識を活用して授業をすすめていく。單元ごとに学習課題や演習後レポートの提出がある。		